

令和4年度 事業報告

新型コロナウイルス感染症は、令和4年度も国内外で流行の波が繰り返され、国内においてもそれまでを大きく上回る感染者数のピークが令和4年8月と令和5年1月にあり、国民生活や経済への影響が続いた。一方で年度末には感染者数が減少傾向となり、感染対策を徹底しつつ社会・経済活動の回復の動きがみられるようになった。

農業においては、ロシアのウクライナ侵攻や円安などの影響を受け、飼料や燃料、肥料など生産資材の価格が著しく高騰し、経営を大きく圧迫する状況となった。これに対して、県や市町村、農業団体等が緊密に連携しながら、国の肥料費への支援や各種対策の活用を図るとともに、各機関・団体等が実施する農業者への支援策を強化し推進した。

このような中、令和4年5月に肉用子牛の価格が短期間で大幅に下落したことから、6月から国が措置した生産者への緊急支援を当協会が事業実施主体となって実施した。

あわせて、全国的に多くの養鶏場で続いた高病原性鳥インフルエンザへの感染が令和5年3月に県内でも発生し、改めてその防疫対策の徹底が求められる状況となった。

また、世界各地で地球温暖化が要因とされる異常気象等が頻発し、国内においては令和4年9月に台風第14号、第15号による記録的な大雨や暴風、本県においても8月に記録的な大雨があったところであり、農産物の生産・供給に影響を及ぼした。

当協会は、安定した農業経営が図られるよう、国等の支援施策を積極的に推進し、畜産物や青果物等の価格下落に迅速に対応した価格安定対策や、果樹産地における生産基盤の強化に向けた対策等を実施し生産者への支援を行った。

令和4年度の価格安定対策事業の加入状況については、肉用子牛個体登録頭数は、約25,300頭（前年度比96.4%）で、青果物等申込数量は、青果物が36,812千kg（同93.3%）切り花が18,263千本（同93.9%）であった。

また、価格安定対策の補給金及び生産基盤整備等の補助金の交付総額は、前年度より109百万円余少ない231百万円余（前年度比67.8%）で、その内訳は、畜産部門が58百万円余（同127.2%）、園芸部門が172百万円余（同58.5%）であった。

具体的には、肉用子牛では、黒毛和種の平均売買価格は、新型コロナウイルス感染症及び飼料価格高騰等の影響を受けた肥育農家の経営環境の悪化等に伴い、令和4年5月より大幅に下落したが、保証基準価格を上回って推移したため生産者補給金の交付はなかった。

その他肉専用種（日本短角種等）では、令和3年度の平均売買価格が311,800円

と保証基準価格を下回ったことから、販売・保留した1,109頭に対し、生産者補給金約909万円（前年度比33.1%）を交付した。

乳用種では、第2四半期と第3四半期に平均売買価格が保証基準価格を下回ったことから同じく613頭に対し、生産者補給金約1,391万円を交付した。

また、肉用子牛価格の令和4年5月の急落に対応し、6月から12月に販売された子牛を対象として措置された優良肉用子牛生産推進緊急対策事業については、褐毛和種やその他肉専用種（日本短角種等）、乳用種について平均価格が発動基準価格を下回った月等があり、延べ1,719頭に対し奨励金3,571万円を交付した。

さらに令和5年1月からは、和子牛の平均価格が発動基準価格を下回った場合に生産者に支援交付金を交付する和子牛生産者臨時経営支援事業に取り組んだ。

ブロイラーについては、堅調な価格で推移し補てん金の交付はなかった。

園芸部門では、野菜が本県は天候の影響により前年度より少ない出荷となったが、関東産は気象条件が良く順調な出荷が続いたことから市場入荷量が増加し、7、8、9月に価格が低迷した品目があった。このため、キャベツ、ピーマン、レタスなどを対象に青果物や花き全体で、補給金約9,950万円（青果物等経営安定支援事業を含む、前年度比49.1%）を交付した。

また、果樹については、例年と同様、改植・新植（採択18.6ha）や優良品種等への改植・新植後の経営安定（同18.6ha）を支援した。

また、令和4年10月に鹿児島県で開催された「第12回全国和牛能力共進会」への出品について、県や農業団体と連携し支援を行った。

以下、令和4年度事業の詳細について報告する。

I 令和4年度事業実績について

1. 経営安定を図る事業

(1) 価格安定事業

ア 肉用子牛生産者補給金制度（第7業務対象年間〔令和2年度～令和6年度〕の3年度目）

本制度は、肉用子牛生産者の経営安定を図るため、市場価格が保証基準価格を下回った場合に補給金を交付するもので、本年度は引き続き制度への加入を推進した。

令和4年度の子牛個体登録頭数は、黒毛和種では生産者の廃業により、21,620頭（前年度比96.0%）となったほか、日本短角種等のその他肉専用種が1,032頭（前年度比90.8%）、乳交雑種が1,621頭（前年度比97.1%）となり、全体では25,287頭（前年度比96.4%）となった。

生産者積立金の造成額は、66,028,800円（前年度比95.8%）となった。

黒毛和種の平均売買価格は、新型コロナ感染症及び飼料価格高騰等の影響を受けた肥育農家の経営環境の悪化等に伴い、令和4年5月より大幅に下落したが、保証基準価格を上回ったため補給金の交付はなかった。

その他肉専用種（日本短角種等）の平均売買価格の算定は、令和2年度から年間を通じた方式に改定された（従来は四半期を単位）。このため、令和3年度の平均売買価格は令和4年4月に311,800円/頭とされ、保証基準価格を下回ったことから、販売・保留した1,109頭に対し、補給金9,093,800円（前年度対比33.1%）を交付した。

また、令和4年度の平均売買価格は、10月以降の短角市場の価格が254千円前後（保証基準価格は320千円/頭）となったが、年間を通じた算定となっていることから補給金の確定・交付は次年度となる。

乳用種の平均売買価格は、第2四半期（7月～9月）が149,500円/頭、第3四半期（10月～12月）が127,400円/頭となり、保証基準価格（164千円/頭）を下回ったことから、販売・保留した613頭に対し、補給金13,905,200円を交付した。

(ア) 生産者補給金交付契約者数

(単位:件)

区 分	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	累 計	備考 (令和元年度)
個 人	3,868	2	19			3,889	(5,016)
農 協	0	0	0			0	(1)
農 協 連	1	0	0			1	(2)
農事組合法人	4	0	0			4	(4)
合 名 ・ 合 資	1	0	1			2	(0)
株 式 会 社	22	6	2			30	(13)
有 限 会 社	16	1	0			17	(13)
民 法 法 人	2	0	0			2	(3)
合 計	3,914	9	22			3,945	(5,052)

※ 上記の農協連は、全農岩手県本部

(イ) 契約肉用子牛個体登録頭数

(単位:頭)

区 分 品種区分	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	合 計
	令和4年 1月1日 ～ 3月31日	令和4年 4月1日 ～ 6月30日	令和4年 7月1日 ～ 9月30日	令和4年 10月1日 ～ 12月31日	
黒毛和種	5,969	4,930	5,142	5,579	21,620
褐毛和種	27	10	11	11	59
その他肉専用種	27	15	727	263	1,032
乳用種	344	300	139	172	955
乳交雑種	428	422	360	411	1,621
合 計	6,795	5,677	6,379	6,436	25,287

(ウ) 生産者積立金の造成

(単位:頭、円)

品種区分	個体 登録頭数	1頭当 り積立金	生産者 積立金	負担区分		
				生産者 (1/4)	岩手県 (1/4)	機構 (1/2)
黒毛和種	21,620	1,600	34,592,000	8,648,000	8,648,000	17,296,000
褐毛和種	59	6,000	354,000	88,500	88,500	177,000
その他 肉専用種	1,032	18,800	19,401,600	4,850,400	4,850,400	9,700,800
乳用種	955	6,800	6,494,000	1,623,500	1,623,500	3,247,000
乳交雑種	1,621	3,200	5,187,200	1,296,800	1,296,800	2,593,600
合 計	25,287	-	66,028,800	16,507,200	16,507,200	33,014,400

(エ) 平均売買価格

(単位:円/頭)

区分 品種区分	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
	令和4年 1月1日 ～ 3月31日	令和4年 4月1日 ～ 6月30日	令和4年 7月1日 ～ 9月30日	令和4年 10月1日 ～ 12月31日
黒毛和種	730,200	668,500	605,400	614,000
褐毛和種	589,500	553,100	536,800	534,100
その他肉専用種	311,800	—		
乳用種	231,200	210,000	149,500	127,400
乳交雑種	324,400	293,300	275,400	301,400

※その他肉専用種は、令和3年度第1～4四半期分（令和3年4月～令和4年3月分）

(オ) 生産者補給金の交付状況

(単位：頭、円、件)

区 分			第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	合計
			令和4年 1月1日 ～ 3月31日	令和4年 4月1日 ～ 6月30日	令和4年 7月1日 ～ 9月30日	令和4年 10月1日 ～ 12月31日	
黒毛 和種	交付対象 頭 数 ①	販売	—	—	—	—	—
		保留	—	—	—	—	—
		合計	—	—	—	—	—
	②生産者補給金単価(円/頭)		—	—	—	—	—
	③生産者補給金交付額(①×②)		—	—	—	—	—
交付対象生産者数			—	—	—	—	—
褐毛 和種	交付対象 頭 数 ①	販売	—	—	—	—	—
		保留	—	—	—	—	—
		合計	—	—	—	—	—
	②生産者補給金単価(円/頭)		—	—	—	—	—
	③生産者補給金交付額(①×②)		—	—	—	—	—
交付対象生産者数			—	—	—	—	—
その 他肉 専用種	交付対象 頭 数 ①	販売	904	—			904
		保留	205	—			205
		合計	1,109	—			1,109
	②生産者補給金単価(円/頭)		8,200	—			8,200
	③生産者補給金交付額(①×②)		9,093,800	—			9,093,800
	交付対象生産者数			169	—		
乳用種	交付対象 頭 数 ①	販売	—	—	85	33	118
		保留	—	—	301	194	495
		合計	—	—	386	227	613
	②生産者補給金単価(円/頭)		—	—	14,500	36,600	—
	③生産者補給金交付額(①×②)		—	—	5,597,000	8,308,200	13,905,200
交付対象生産者数			—	—	1	1	2
乳交 雑種	交付対象 頭 数 ①	販売	—	—	—	—	—
		保留	—	—	—	—	—
		合計	—	—	—	—	—
	②生産者補給金単価(円/頭)		—	—	—	—	—
③生産者補給金交付額(①×②)		—	—	—	—	—	
交付対象生産者数			—	—	—	—	—
合 計	交付対象 頭 数 ①	販売	904	—	85	33	1,022
		保留	205	—	301	194	700
		合計	1,109	—	386	227	1,722
	②生産者補給金単価(円/頭)		8,200	—	14,500	36,600	—
	③生産者補給金交付額(①×②)		9,093,800	—	5,597,000	8,308,200	22,999,000
交付対象生産者数			169	—	1	1	171

※その他肉専用種は、令和3年度第1～4四半期分(令和3年4月～令和4年3月分)

(参考1) 保証基準価格と合理化目標価格 (単位：円/頭)

品種区分	保証基準価格	合理化目標価格	備考
黒毛和種	541,000	429,000	
褐毛和種	498,000	395,000	
その他肉専用種	320,000	253,000	日本短角種等
乳用種	164,000	110,000	
乳交雑種	274,000	216,000	乳用種を母とする交雑種

(参考2) 指定肉用子牛の規格

肉用子牛の種類	体重
黒毛和種	250kg 以上 320kg 以下
褐毛和種	260kg 以上 330kg 以下
無角和種	200kg 以上 270kg 以下
日本短角種	200kg 以上 280kg 以下
アンガス種及びヘレフォード種	260kg 以上 310kg 以下
ホルスタイン種 (雌を除く)	250kg 以上 330kg 以下
ホルスタイン種を母とする交雑種	260kg 以上 320kg 以下

(カ) 生産者積立金等の収支状況

(単位:円)

区 分		黒毛和種	褐毛和種	その他 肉専用種	乳用種	乳交雑種	合計	
期首残高	(1)生産者積立金	71,389,529	402,019	43,298,407	5,997,685	10,384,638	131,472,278	
	(2)生産者積立準備金	215,110,339						215,110,339
	内 訳	(3)生産者	193,460,770					193,460,770
		(4)岩手県	9,655,483	61,510	8,447,329	1,900,949	1,584,298	21,649,569
		(5)農畜産業振興機構	0	0	0	0	0	0
生産者積立金積立実績	(6)生産者積立金増加額 (9)+(12)+(15)	25,968,800	294,000	14,842,600	6,145,500	4,060,000	51,310,900	
	(7)積立準備金からの繰入 (10)+(13)+(16)	8,623,200	60,000	4,559,000	348,500	1,127,200	14,717,900	
	(8) 計	34,592,000	354,000	19,401,600	6,494,000	5,187,200	66,028,800	
	内 生産者	(9)負担金	1,622,800	72,000	291,400	1,623,500	326,400	3,936,100
		(10)積立準備金{(3)からの繰入額}	7,025,200	16,500	4,559,000	0	970,400	12,571,100
		(11)小計	8,648,000	88,500	4,850,400	1,623,500	1,296,800	16,507,200
	内 岩手県	(12)積立助成金	7,050,000	45,000	4,850,400	1,275,000	1,140,000	14,360,400
		(13)積立準備金{(4)からの繰入額}	1,598,000	43,500	0	348,500	156,800	2,146,800
		(14)小計	8,648,000	88,500	4,850,400	1,623,500	1,296,800	16,507,200
	内 機構	(15)積立助成金	17,296,000	177,000	9,700,800	3,247,000	2,593,600	33,014,400
		(16)積立準備金{(5)からの繰入額}	0	0	0	0	0	0
		(17)小計	17,296,000	177,000	9,700,800	3,247,000	2,593,600	33,014,400
	他の資金からの繰入状況等	(18)特別の積立金から生産者積立金へ繰入れた金額	0	0	0	0	0	0
		(19)調整積立金から生産者積立金へ繰入れた金額	0	0	0	0	0	0
		(20)生産者補給金に充てるための全国協会等からの借入金額	0	0	0	0	0	0
		(21)生産者積立金に係る運用益	1,807	11	1,013	161	245	3,237
		(22)生産者積立準備金に係る運用果実	3,878					
(23)生産者補給金交付額(生産者積立金部分)		0	0	0	0	0	0	
(24)生産者積立金からの借入金返済額		0	0	0	0	0	0	
(25)生産者積立金から生産者積立準備金への繰入額		0	0	0	0	0	0	
返還	(26)生産者積立準備金(生産者)	7,543,742						7,543,742
	(27)生産者積立準備金(岩手県)	0	0	0	0	0	0	
	(28)生産者積立準備金(農畜産業振興機構)	0	0	0	0	0	0	
期末残高	(29)生産者積立金 (1)+(8)+(18)+(19)+(20)+(21)-(23)-(24)-(25)	105,983,336	756,030	62,701,020	12,491,846	15,572,083	197,504,315	
	(30)生産者積立準備金 (2)-(7)+(22)+(25)-(26)-(27)-(28)	192,852,575						192,852,575
	内 訳	(32)生産者 (3)-(10)+{(22)(25)生産者分}-(26)	173,349,414					173,349,414
		(33)岩手県 (4)-(13)+{(22)(25)岩手県分}-(27)	8,057,645	18,010	8,447,499	1,552,480	1,427,527	19,503,161
(34)農畜産業振興機構 (5)-(16)+{(22)(25)機構分}-(28)	0	0	0	0	0	0		

イ 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業

本事業は、肉用子牛生産者補給金制度を適正かつ効率的に実施するため、実施状況調査や指導を行うもので、令和4年度は、①契約生産者から提出された個体登録申込書の点検、②補給金交付対象肉用子牛の個体登録、③契約生産者が契約肉用子牛を自家保留した場合における当該子牛の満12月齢以降の飼養確認、④家畜市場における肉用子牛取引情報の収集と独立行政法人農畜産業振興機構への報告等の業務を行った。

また、当協会が農協等に委託している事務の処理状況について調査、指導を行った。

事務委託先	11 団体
	7 総合農協
	2 専門農協
	全国農業協同組合連合会岩手県本部
	一般社団法人岩手県配合飼料価格安定基金協会

ウ 優良肉用子牛生産推進緊急対策事業

令和4年5月において黒毛和種子牛価格が下落するなど、肉用子牛生産者の経営環境が悪化したことから、肉用子牛の全国平均価格が発動基準価格を下回った場合（令和4年6月～12月販売）、畜舎の環境改善や子牛の疾病の防止等の経営改善に取り組む肉用子牛生産者に対し奨励金を交付する事業に6月から取り組んだ。（経営改善推進対策）

その後、肉用子牛の価格が短期間で大幅に下落し、経営環境が急激に悪化したことから、母子牛両方の疾病の予防や遺伝的多様性に配慮した交配等の産地強化につながる取組を行う和子牛生産者に対して上記の奨励金に更に奨励金を加算（1万円/頭）して交付（令和4年9月販売から）するよう支援内容が追加された。（和子牛産地強化推進対策）

経営改善推進対策については、褐毛和種、その他肉専用種（日本短角種等）及び乳用種の926頭分に対し奨励金27,780,000円を交付した。

和子牛産地強化推進対策については、褐毛和種及び日本短角種の793頭分に対し奨励金7,930,000円を交付した。

全国平均価格及び奨励金の交付状況

（単位：頭、円、件）

品種区分	月	全国平均価格	奨励金			
			①交付対象頭数	②奨励金単価	③奨励金交付額 (①×②)	交付対象生産者数
黒毛和種	令和4年6月	657,878	-	-	-	-
	令和4年7月	641,898	-	-	-	-
	令和4年8月	628,901	-	-	-	-
	令和4年9月	619,404	-	-	-	-
	令和4年10月	626,941	-	-	-	-
	令和4年11月	632,077	-	-	-	-
	令和4年12月	645,492	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-

(単位：頭、円、件)

品種区分	月	全国 平均価格	奨励金			
			①交付対象頭数	②奨励金 単価	③奨励金交付額 (①×②)	交付対象 生産者数
褐毛和種	令和4年6月	606,048	-	-	-	-
	令和4年7月	576,473	-	-	-	-
	令和4年8月	561,972	-	-	-	-
	令和4年9月	533,835	-	-	-	-
	令和4年10月	511,067	14	30,000	420,000	8
			13	10,000	130,000	7
	令和4年11月	542,840	-	-	-	-
	令和4年12月	591,350	-	-	-	-
計	-	14	-	420,000	8	
		13	-	130,000	7	
その他の肉専用種	令和4年6月～10月	249,142	715	30,000	21,450,000	138
			702	10,000	7,020,000	135
	令和4年11月	249,142	6	30,000	180,000	2
			6	10,000	60,000	2
令和4年12月	252,161	73	30,000	2,190,000	33	
		72	10,000	720,000	33	
計	-	794	-	23,820,000	173	
		780	-	7,800,000	170	
乳用種	令和4年6月	202,915	-	-	-	-
	令和4年7月	192,930	-	-	-	-
	令和4年8月	141,232	22	30,000	660,000	1
	令和4年9月	134,723	63	30,000	1,890,000	1
	令和4年10月	123,640	33	30,000	990,000	1
	令和4年11月	142,477	-	-	-	-
	令和4年12月	148,808	-	-	-	-
	計	-	118	-	3,540,000	3
乳交雑種	令和4年6月	311,510	-	-	-	-
	令和4年7月	318,385	-	-	-	-
	令和4年8月	300,088	-	-	-	-
	令和4年9月	305,624	-	-	-	-
	令和4年10月	324,124	-	-	-	-
	令和4年11月	330,912	-	-	-	-
	令和4年12月	342,194	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-
合計	-	-	926	-	27,780,000	-
			793	-	7,930,000	-

※黒毛和種の平均価格は9月販売分より東北ブロックの平均価格。

※その他肉専用種の全国平均価格は、販売月までの平均価格。

※上段は経営改善推進対策、下段は和子牛産地強化推進対策。

(参考) 発動基準価格

(単位：円／頭)

品種区分	発動基準 A (奨励金単価：10,000円)	発動基準 B (奨励金単価：30,000円)
黒毛和種	600,000	570,000
褐毛和種	550,000	530,000
その他の肉専用種	350,000	340,000
乳用種	180,000	170,000
乳交雑種	300,000	290,000

エ 和子牛生産者臨時経営支援事業

令和4年5月に急落した肉用子牛価格は回復傾向にあるものの、価格が堅調に推移するまでの間、和子牛生産者のセーフティネットを臨時的に措置し、和子牛の平均価格が発動基準価格を下回った場合（令和5年1月販売から）、繁殖雌牛の分娩間隔の短縮や子牛の出荷月齢の早期化等の生産合理化に向けた努力方針に取り組む和子牛生産者に対し支援交付金を交付する事業に1月から取り組んだ。

なお、支援交付金については、次年度の交付となる。

発動基準価格

(単位：円／頭)

品種区分	発動基準価格
黒毛和種	600,000
褐毛和種	550,000
その他肉専用種 (無角和種、日本短角種、和牛間交雑種)	350,000

オ ブロイラー価格安定対策事業（第8業務対象年間〔令和2年度～令和4年度〕の最終年度）

本事業は、ブロイラー生産者の経営安定を図るため、指標価格が保証基準価格を下回った場合に補てん金を交付するもので、令和4年度は、第8業務対象年間（令和2年度～令和4年度）の最終年度である。

令和4年度の計画羽数は、124,924,000羽（前年度比100.3%）で、積立金額は、624,620,000円（前年度比100.3%）となった。

ブロイラー価格は、需要が安定的に推移していることや価格が高水準となっている輸入鶏肉の代替需要が増加したことなどにより、6月以降前年度より高値となり、補てん金の交付はなかった。

(ア) 計画羽数

(単位：羽)

計画羽数	124,924,000
------	-------------

(イ) 積立金の造成

(単位：円)

区 分	積立金	積立（補助）内訳			
		生産者 (3/8)	岩手県チキン 協同組合 (3.5/8)	市町村 (0.5/8)	県 (1/8)
(積立単価)	(5)	(1.875)	(2.1875)	(0.3125)	(0.625)
124,924,000羽	624,620,000	234,232,500	273,271,250	39,038,750	78,077,500

(ウ) ブロイラー指標価格

(単位：円/kg)

令和4年 4月	令和4年 5月	令和4年 6月	令和4年 7月	令和4年 8月	令和4年 9月	指標価格の算出方法： 東京荷受市場における「もも肉」、「むね肉」 の正肉1kg当たりの加重平均価格にそ れぞれの部位別割合 0.46及び0.54を乗じ て得た額の総和
455	460	463	476	489	503	
令和4年 10月	令和4年 11月	令和4年 12月	令和5年 1月	令和5年 2月	令和5年 3月	
524	549	580	597	591	588	

(エ) 補てん金の交付状況

(単位：羽、円)

区 分		交付羽数及び補てん金単価		補てん金交付額
		羽 数	単 価 (円/羽)	
第 1 四半期	令和4年 4月	0	-	0
	〃 5月	0	-	0
	〃 6月	0	-	0
第 2 四半期	〃 7月	0	-	0
	〃 8月	0	-	0
	〃 9月	0	-	0
第 3 四半期	〃 10月	0	-	0
	〃 11月	0	-	0
	〃 12月	0	-	0
第 4 四半期	令和5年 1月	0	-	0
	〃 2月	0	-	0
	〃 3月	0	-	0
合 計		0	-	0

(参考) 保証基準価格及び保証下限価格

(単位：円/kg)

保証基準価格	435	保証下限価格	428
--------	-----	--------	-----

(オ) 積立金等の収支状況

(単位：円)

区 分	積立金	準備金	合 計
前期繰越額	859,273,121	0	859,273,121
積立金造成額	624,620,000	-	624,620,000
準備金取崩額	-	0	-
運用益	17,198	0	17,198
交付額	0	-	0
準備金へ繰入額	1,483,910,319	-	1,483,910,319
積立金より繰入額	-	1,483,910,319	1,483,910,319
次期繰越額	0	1,483,910,319	1,483,910,319

カ 青果物等価格安定事業

本事業は、生産者が農協、全農岩手県本部を通じて出荷した青果物等の価格が下落した場合に、生産者補給金の交付を通じて経営の安定を支援するもので、指定野菜価格安定対策事業、特定野菜等供給産地育成価格差補給事業、県単青果物等価格安定事業の3事業で構成されている。

(ア) 申込数量と資金造成額

令和4年度の申込数量は、青果物36,812千kg(前年度比93.3%)、切花(りんどう・小菊)18,263千本(前年度比93.9%)、花壇苗(パンジー)303トレー(前年度比16.0%)で、資金造成額は2,134,262,526円(前年度比98.4%)であった。

事業別申込数量と資金造成額

(単位：円、%)

事業名	申込数量	前年度比	資金造成額	前年度比
県単青果物等			214,342,936	93.4
(青果物)	(2,762,000 kg)	(87.8)	(119,635,600)	(93.3)
(切花)	(18,263,000 本)	(93.9)	(94,642,400)	(93.8)
(花壇苗)	(303 トレー)	(15.9)	(64,936)	(16.9)
特定野菜等育成	2,447,000 kg	101.4	217,036,590	108.3
指 定 野 菜	31,603,000 kg	93.2	1,702,883,000	98.0
合 計			2,134,262,526	98.4
(青果物)	(36,812,000 kg)	(93.3)	(2,039,555,190)	(98.7)
(切花)	(18,263,000 本)	(93.9)	(94,642,400)	(93.8)
(花壇苗)	(303 トレー)	(15.9)	(64,936)	(16.9)

(イ) 野菜等の販売状況及び補給金等の交付状況

野菜は天候の影響により前年度より少ない出荷となった。

市場価格については、関東産は気象条件が良く順調な出荷が続いたことから、市場入荷量が増加し、7月、8月、9月は価格が低迷した。

花きについて、5月、6月の高温の影響により生育が遅れていたものが、8月に大量出荷となり価格が低迷した。

このため、キャベツ、ピーマン、レタス、小菊などを対象として補給金 93,265,236 円（前年度比 48.0%）を交付した。

事業別補給金等交付額 (単位：円、%)

事業名	交付額	前年度比
県単青果物等	15,695,559	53.4
（青果物）	(9,062,317)	(35.5)
（花き）	(6,633,242)	(172.0)
特定野菜等育成	34,478,677	143.1
指定野菜	43,091,000	30.6
合計	93,265,236	48.0
（青果物）	(86,631,994)	(45.5)
（花き）	(6,633,242)	(172.0)

品目別補給金等交付額 (単位：円、%)

品目	交付額	構成比	前年度比
1.キャベツ	27,878,443	29.9	115.3
2.ピーマン	21,933,629	23.5	45.0
3.レタス（結球）	7,910,291	8.5	63.5
4.小菊	6,633,242	7.1	873.2
5.ながいも	6,606,078	7.1	268.6
6.その他	22,303,553	23.9	-
合計	93,265,236	100.0	48.0

キ 青果物等経営安定支援事業

本事業は、青果物等価格安定事業を補完することを目的とする事業である。

(ア) 通常補給金加算

本事業は、補てん率が 80%である特定野菜等育成事業及び県単青果物等事業の品目に対し、10%の補給金を加算交付するもので、令和 4 年度はピーマン、小菊等に対し 6,270,858 円（前年度比 93.8%）を交付した。

(1) 異常低落時補給金交付

本事業は、青果物等価格安定対策事業の対象野菜等の価格が最低基準額を下回った場合に生産者に補給金を交付するもので、令和4年度は、ブロッコリーに対して補給金330円（前年度比0.02%）を交付した。

事業別補給金交付額 (単位：円、%)

事業名	交付額			前年度比
	通常加算	異常低落	計	
県単青果物等事業	1,960,715	0	1,960,715	49.9
特定野菜等育成事業	4,310,143	330	4,310,473	143.2
指定野菜事業	-	0	0	-
計	6,270,858	330	6,271,188	75.0

品目別補給金交付額 (単位：円、%)

品目	交付額			前年度比
	通常加算	異常低落	計	
1.ピーマン	2,741,984	0	2,741,984	102.3
2.小菊	827,274	0	827,274	889.3
3.ながいも	825,793	0	825,793	268.6
4.生しいたけ	765,640	0	765,640	64.3
5.えだまめ	694,570	0	694,570	97.0
6.その他	415,597	330	415,927	-
合計	6,270,858	330	6,271,188	75.0

(2) 生産基盤強化事業

ア 肉用牛繁殖経営サポート事業

当協会では、黒毛和種繁殖経営の生産性向上や増頭による所得拡大を支援するため、生産者個々の繁殖成績や枝肉情報等を記載した「モットー君通信簿」を肉用子牛生産者補給金制度加入生産者に提供した。

※令和4年度末における提供者数2,604戸

イ 果樹農業生産力増強総合対策事業

(7) 果樹経営支援対策事業

本事業は、産地が策定した「果樹産地構造改革計画」に基づき、生産者が行う果樹の改植・新植や小規模園地整備等を支援するものである。

a 事業実施計画

6農協管内の9産地協議会におけるりんごの改植11.6ha、ぶどうの改植0.2ha、やまぶどうの改植0.2ha、りんごの新植6.2ha、ぶどうの新植0.3ha、その他の果樹の新植0.1ha、小規模園地整備0.2haの取組に対し、補助金60,207,179円(前年度比124.6%)の交付決定を行った。

令和4年度補助金交付決定額等 (単位：円)

事業費	補助金交付決定額	備考
61,829,378	60,207,179	令和5年度事業完了予定

b 補助金交付

令和3年度に補助金交付決定した、5農協管内の5産地協議会におけるりんごの改植9ha、ぶどうの改植0.5ha、りんごの新植3.5ha、小規模園地整備0.3haの取組が完了し、補助金44,330,307円(前年度比78.8%)を交付した。

補助金交付額 (単位：円)

区分	事業費	補助金交付額
令和3年度交付決定分	47,367,194	44,330,307

(イ) 果樹未収益期間支援事業

本事業は、果樹経営支援対策事業により優良品種等に改植・新植した後、十分な収量が得られるまでの期間(4年間)における経費の一部を補助するものである。

a 事業実施計画

6農協管内の8産地協議会における18.6haの事業面積に対し、補助金40,520,600円(前年度比134.5%)の交付決定を行った。

令和4年度補助金交付決定額等 (単位：円)

事業費	補助金交付決定額	備考
40,870,940	40,520,600	令和5年度事業完了予定

b 補助金交付

令和3年度に補助金交付決定した、5農協管内の5産地協議会におけるりんごの改植9ha、ぶどうの改植0.5ha、りんごの新植3.5haに対し、補助金28,529,740円(前年度比81.1%)を交付した。

補助金交付額 (単位：円)

区分	事業費	補助金交付額
令和3年度交付決定分	28,727,160	28,529,740

2. その他、関連事業

(1) 事業運営委員会の開催

ブローラー価格安定対策事業運営委員会

ブローラー価格安定対策事業の実施事業、第9業務対象年間(令和5年度～令和7年度)に係る1羽当たりの積立金や保証基準価格・保証下限価格、第8業務対象年間終了時の積立金残額の処理等について、県・市町村・関係団体等の課長等で構成する運営委員会で協議した。

(2) 事業推進会議の開催

農畜産物価格安定対策の円滑な推進や、適正な事務処理が実施できるよう、事務委託先等の実務担当者と連携を密にするとともに、担当者会議を開催したほか、生産現場に出向いて調査指導等を行った。

(3) 第24回全国果樹技術・経営コンクール

生産技術や経営方式等において、他の模範となる先進的な農業者、生産者団体を表彰するコンクール（公益財団法人中央果実協会等果樹関係5団体の主催）が開催されたが、当県からの推薦は見送った。

(4) 第12回全国和牛能力共進会岩手県協賛会への支援

公益社団法人全国和牛登録協会が主催する「第12回全国和牛能力共進会」への出品に伴い設立された協賛会の運営を支援した。

期日：令和4年10月6日から10日

会場：鹿児島県霧島市他

(5) 共進会への協賛

県内各区域において開催される畜産共進会に協賛し、入賞者に褒賞を授与した。

※褒賞を授与した地区 10地区

(6) 広報活動

畜産物や青果物における平均売買価格や補給金交付単価、補給金等の交付状況及び新規事業等の情報をホームページヘリアルタイムで掲載し、安定した農業経営の確立を支援した。

また、事業に関する諸様式等の情報も併せてホームページに掲載し、事業の円滑かつ効率的な運営を支援した。

II 事業推進経過

1. 全体事項

年 月 日	処 理 事 項	場 所
4. 5. 2	公認会計士会計指導	オンライン対応
5. 19	監事監査（神田監事、菅原監事、佐藤監事）	第二産業会館
6. 8	役員候補者推薦会議	第二産業会館
6. 10	第1回理事会	産業会館
6. 10	令和4年度いわて農林水産振興協議会総会	サンセール盛岡
6. 30	第52回定時総会	産業会館
6. 30	第2回理事会	産業会館
7. 26	第1回岩手県農業生産資材・飼料等価格高騰対策会議	産業会館
8. 5	役員候補者推薦会議	産業会館
8. 23	第3回理事会（決議の省略）	—
8. 29	第2回岩手県農業生産資材・飼料等価格高騰対策会議	産業会館
9. 14	臨時総会（決議の省略）	—
10. 25	公認会計士会計指導	オンライン対応
11. 7	第4回理事会	教育会館
11. 21	第3回岩手県農業生産資材・飼料等価格高騰対策会議	産業会館
12. 22	令和4年度いわて農林水産躍進大会	県民会館
5. 3. 3	公認会計士会計指導	オンライン対応
3. 23	第5回理事会	産業会館

2. 畜産関係

年 月 日	処 理 事 項	場 所
4. 4. 22	令和4年度畜産酪農飼料事業推進会議	アートホテル盛岡
4. 27	第4回肉用牛関係事業等に関する情報連絡会議	オンライン参加
5. 19	令和4年度いわて牛普及推進協議会第1回幹事会	水産会館
6. 22	(一社) 全国肉用牛振興基金協会 令和4年度定時総会	東京都文京区
6. 28	令和4年度肉用子牛生産者補給金制度に係る全国説明会	オンライン参加
6. 30	(一社) 岩手県畜産協会 第90回定時総会	産業会館
7. 5	令和7年度に向けた牛トレーサビリティ(生産段階)業務の見直し等に係るWeb説明会(7/5、7/20)	オンライン参加
8. 3	令和4年度畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業(生産基盤拡大加速化事業(肉用牛))に係る推進会議	オンライン参加
8. 3	令和4年度肉用牛経営安定対策補完事業(地域における肉用牛生産基盤強化等対策事業)に係る推進会議	オンライン参加
8. 29	日本短角種振興協議会第37回通常総会	ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング
8. 29	令和4年度短角市場運営会議	全農いわて中央家畜市場
9. 16	優良肉用子牛生産推進緊急対策事業に係る全国説明会	オンライン参加
9. 20	令和4年度持続的肉用牛生産関連情報発信事業に係る専用ページの新設とオンライン情報交換会	オンライン参加
9. 26	令和4年度家畜市場運営担当者会議	全農いわて中央家畜市場
10. 3	優良肉用子牛生産推進緊急対策事業に係る全国説明会	オンライン参加
10. 14	ブロイラー価格安定対策事業運営委員会	教育会館
10. 18	肉用子牛関連事業に係る担当者会議	アピオ
11. 4	令和4年度家畜市場運営会議	全農いわて中央家畜市場
11. 24	令和4年度肉用牛肥育経営安定交付金制度(牛マルキン)に係る推進会議	アピオ
12. 20	令和4年度肉用子牛生産者補給金制度に係る東北・北海道ブロック説明会	オンライン参加
5. 1. 19	令和4年度和子牛生産者臨時経営支援事業に係る全国説明会	オンライン参加
2. 6	第6回肉用牛関係事業等に関する情報連絡会議	オンライン参加
2. 7	和子牛生産者臨時経営支援事業に係る担当者会議	オンライン開催
2. 8	令和4年度肉用子牛生産者補給金制度等に係る経理研修会	オンライン参加

年 月 日	処 理 事 項	場 所
2. 22	令和4年度畜産・酪農生産力強化対策事業（繁殖性等向上対策事業）に係る肉用牛繁殖性向上検討会 肉用牛繁殖技術シンポジウム	オンライン参加
3. 13	（一社）岩手県畜産協会 令和4年度臨時総会	産業会館
3. 15	令和4年度肉用子牛生産者補給金制度等に係る新人研修会	オンライン参加

3. 園芸関係

年 月 日	処 理 事 項	場 所
4. 4. 20	青果物等価格安定事業に係る初任者基礎研修会	新岩手農協
5. 11	重要野菜等の生産出荷等状況の現地確認 (5/11～1/18 のべ19回実施)	新岩手農協 他
5. 20	令和4年度いわて純情野菜販売対策会議	ホテルニューカリーナ
5. 23	令和4年度岩手県青果物出荷安定協議会総会	産業会館
5. 25	令和4年度岩手県農業保険加入推進協議会通常総会並びに第1回推進会議	岩手県農業共済組合
5. 27	令和4年度野菜価格安定対策事業実務担当者説明会	オンライン参加
5. 27	令和4年度果樹経営支援対策事業等全国説明会	オンライン参加
6. 23	令和4年度花き販売対策会議	ホテルメトロポリタン盛岡
7. 8	全国果樹技術・経営コンクール事務局員会議	第二産業会館
8. 5	肥料価格高騰対策事業説明会	オンライン参加
9. 20	第2回岩手県農業保険加入推進協議会推進会議	岩手県農業共済組合
10. 27	第38回果実基金制度落葉果樹連絡協議会（～10/28）	山形県山形市
12. 13	令和4年度補正予算（産地生産基盤パワーアップ事業（園芸作物等の先導的取組支援（果樹）））に関する説明会	オンライン参加
5. 2. 2	令和4年度道県果実基金協会業務運営協議会	オンライン参加
2. 6	令和5年度大規模契約栽培産地育成強化推進事業説明会	オンライン参加
3. 9	東北・北海道青果物価格安定対策事業連絡協議会事務局長会議	福島県福島市
3. 30	令和4年度第3回補助農地整備関係者会議（第一部）	オンライン参加

Ⅲ 総会及び役員会

1. 総会

(1) 第 52 回定時総会

- ア 日 時 令和 4 年 6 月 30 日 (木) 午前 10 時 40 分
イ 場 所 盛岡市大通一丁目 2 番 1 号 産業会館 7 階大ホール
ウ 出席者 51 会員 (本人出席 11 会員、委任状出席 40 会員)
エ 議 事
議 案
第 1 号議案 定款の一部変更について
第 2 号議案 令和 3 年度計算書類及び財産目録の承認について
第 3 号議案 役員を選任について

(2) 臨時総会

- ア 日 時 令和 4 年 9 月 14 日 (水)
イ 方 法 決議の省略
ウ 同意者 51 会員
エ 議 事
議 案
第 1 号議案 役員を選任について

2. 役員会

(1) 第 1 回理事会

- ア 日 時 令和 4 年 6 月 10 日 (金) 午前 10 時 40 分
イ 場 所 盛岡市大通一丁目 2 番 1 号 産業会館 5 階 特別会議室
ウ 出席者 理事 7 名 監事 2 名
エ 議 事
(ア) 議 案
第 1 号議案 定款の一部変更について
第 2 号議案 公益法人制度における変更認定申請について
第 3 号議案 果樹農業生産力増強総合対策事業業務方法書の一部改正について
第 4 号議案 令和 3 年度事業報告、計算書類及びその附属明細書、財産目録並びに資金収支計算書の承認について
第 5 号議案 肉用子牛生産者補給金制度に係る生産者積立準備金の返還について
第 6 号議案 第 52 回定時総会の招集及び付議すべき事項について

(イ) 職務の執行状況報告

(2) 第2回理事会

ア 日 時 令和4年6月30日(木) 午後0時05分
イ 場 所 盛岡市大通一丁目2番1号 産業会館 5階 特別会議室
ウ 出席者 理事9名 監事3名
エ 議 事
議 案
役付理事の選定について

(3) 第3回理事会

ア 日 時 令和4年8月23日(火)
イ 方 法 決議の省略
ウ 同意者 理事11名
エ 確認者 監事3名
オ 議 案
第1号議案 令和4年度事業計画書、収支予算書の変更及び資金収支予算書の補正について
第2号議案 臨時総会の開催及び付議すべき事項について

(4) 第4回理事会

ア 日 時 令和4年11月7日(月) 午後1時25分
イ 場 所 盛岡市大通一丁目1番16号 岩手教育会館 ホールB
ウ 出席者 理事10名 監事2名
エ 議 事
(ア) 職務の執行状況報告
(イ) 議 案
第1号議案 ブロイラー価格安定対策事業業務方法書の一部改正について
第2号議案 ブロイラー価格安定対策事業に係る「1羽当たりの積立金の額」及び「保証基準価格及び保証下限価格」について

(5) 第5回理事会

ア 日 時 令和5年3月23日(木) 午前10時25分
イ 場 所 盛岡市大通一丁目2番1号 産業会館 5階 特別会議室
ウ 出席者 理事9名 監事3名
エ 議 事
(ア) 職務の執行状況報告
(イ) 議 案
第1号議案 令和4年度事業計画書、収支予算書の変更及び資金収支予算書の補正について
第2号議案 令和5年度事業計画書、収支予算書、資金収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みについて
第3号議案 調整積立金の普通財産への繰入れについて

第 4 号議案 令和 5 年度借入金限度額について

第 5 号議案 肉用子牛生産者補給金制度に係る事務委託について

(6) 監事監査

ア 日 時	令和 4 年 5 月 19 日 (木) 午前 11 時
イ 場 所	盛岡市菜園一丁目 4 番 10 号 第二産業会館 209 号会議室
ウ 監査事項	令和 3 年度業務監査

IV 会員数及び長期預り金

(単位：千円)

	会員数	長期預り金			
		肉用子牛	青果物	果実	合計
(公財)中央果実協会	1	—	—	15,000	15,000
岩手県	1	350,000	139,550	7,500	497,050
市町村	33	176,920	62,850	—	239,770
全国農業協同組合連合会	1	70,000	40,890	2,100	112,990
岩手県信用農業協同組合連合会	1	41,000	8,140	600	49,740
全国共済農業協同組合連合会	1	14,600	3,820	300	18,720
農業協同組合	10	48,460	44,850	5,390	98,700
(一社)岩手県配合飼料価格安定基金協会	1	2,230	—	—	2,230
(公社)岩手県農産物改良種苗センター	1	—	—	50	50
岩手県農業協同組合中央会	1	—	—	—	—
合計	51	703,210	300,100	30,940	1,034,250

参考：長期預り金市町村別・農協別明細表

(市町村)

(単位：千円)

	肉用子牛	青果物	果 実	合 計
盛 岡 市	8,120	10,860	-	18,980
宮 古 市	6,710	2,460	-	9,170
大 船 渡 市	2,030	1,310	-	3,340
花 巻 市	10,360	4,650	-	15,010
北 上 市	3,980	2,190	-	6,170
久 慈 市	3,930	1,360	-	5,290
遠 野 市	9,760	1,860	-	11,620
一 関 市	31,190	3,940	-	35,130
陸 前 高 田 市	850	790	-	1,640
釜 石 市	1,640	2,150	-	3,790
二 戸 市	5,000	2,120	-	7,120
八 幡 平 市	9,130	5,210	-	14,340
奥 州 市	30,100	4,660	-	34,760
滝 沢 市	2,360	1,350	-	3,710
雫 石 町	8,580	1,190	-	9,770
葛 巻 町	1,890	920	-	2,810
岩 手 町	3,620	1,990	-	5,610
紫 波 町	5,740	2,600	-	8,340
矢 巾 町	2,880	1,770	-	4,650
西 和 賀 町	3,220	180	-	3,400
金ヶ崎 町	4,440	430	-	4,870
平 泉 町	2,570	250	-	2,820
住 田 町	1,160	300	-	1,460
大 槌 町	980	580	-	1,560
山 田 町	960	600	-	1,560
岩 泉 町	3,580	510	-	4,090
田 野 畑 村	650	220	-	870
普 代 村	640	140	-	780
軽 米 町	2,820	730	-	3,550
野 田 村	580	170	-	750
九 戸 村	1,380	560	-	1,940
洋 野 町	2,800	900	-	3,700
一 戸 町	3,270	3,900	-	7,170
計(33)	176,920	62,850	-	239,770

(農 協)

(単位：千円)

	肉用子牛	青果物	果 実	合 計
新 岩 手 農 協	16,580	16,690	1,270	34,540
岩 手 中 央 農 協	3,230	8,040	1,510	12,780
花 巻 農 協	7,870	8,540	320	16,730
岩手ふるさと農協	4,820	3,540	70	8,430
岩手江刺農協	3,850	2,480	40	6,370
いわて平泉農協	9,260	3,050	1,110	13,420
大船渡市農協	1,230	2,510	1,070	4,810
岩手中央酪農協	770	-	-	770
九戸畜産農協	30	-	-	30
岩手花平農協	820	-	-	820
計(10)	48,460	44,850	5,390	98,700